



明治百年祭の 表象 の 分析 と 課題

過去15年の
研究

2024

7月26日(金)

17:00-18:30 JST

大阪大学豊中キャンパス
全学教育推進機構 実験棟1F
サイエンス・コモンズ
DAICEL Studio ([Map](#))

Presentation

Hasan TOPACOGLU

ハサン・トパチョール

国際日本文化研究センター 外国人研究員
ユスキュダル大学 助教授

Visiting Research Scholar,
International Research Center for
Japanese Studies

Assistant Professor,
Uskudar University

今回のワークショップでは、ユスキュダル大学助教授で国際日本文化研究センター外国人研究者のハサン・トパチョール氏を迎え、明治百年祭がどのように国内外のメディアで表象されてきたのか、過去15年間の研究を通じて明らかになってきたことを共有していただきます。

日本の1960年代の研究が活発になる今日、1968年の日本なるものが多方面で表現され、記憶されていくなかで、いかにそれらを理解できるのか、日本研究者の眼から提起して共有する機会を設けます。

Comments

楠 綾子

KUSUNOKI Ayako

国際日本文化研究センター教授

Professor,
International Research Center for
Japanese Studies

平尾 漱太

HIRAO Sota

大阪大学大学院人文学研究科
博士後期課程日本学専攻

Doctoral Student, Osaka University

Hybrid Format



<https://forms.office.com/r/AqueryU9yw>

参加人数把握のため事前登録にご協力ください。
Pre-registration is required.

開催言語：日英両語

Languages : English and Japanese